

地区社協の活動と取組みを紹介します

美山地区

「住民みんなで支え合う地域福祉」

旧美山町全域を区域とする美山地区は、福井市の面積の約25%を占め、53の集落が点在しています。少子高齢化が進み、2006年の合併時には約5,100人だった人口も約3,400人に減少し、65歳以上が約47%、75歳以上が約27%を占めています。

今回は、美山地区社協の主な活動を二つで紹介します。

一つ目は、「ひとり暮らし高齢者のつづい」です。毎年11月に開催しています。今年は、こどもたちのダンスや美山音頭、歌謡ショーなどで楽しいひと時を過ごしていました。昼食は、地域住民の皆さんにご協力をいただいで、打ち立てのおろしそばや手作りお惣菜などを味わってもらいました。交通手段がない参加者は、スタッフが送迎を行いました。

二つ目は、「配食サービス」です。

年間20回(月2回、1月と9月は休み)実施しています。11の調理ボランティアグループが交代で調理を担当し、午前中に調理した手作りお弁当を配達ボランティアの皆さんが、お昼までに自宅に届けています。

人口減少と高齢化がさらに進むと思

われますが、ボランティアの皆さんと民生委員・児童委員、福祉委員、地区社協のスタッフが力を合わせて、地域福祉活動を進めていきたいと思います。

美山地区社会福祉協議会

会長 辻本 治男



▲食事サービスの様子

▶ひとり暮らし高齢者の集いの様子

明新地区

「毎日を笑顔で過ごせる地域づくりを」

明新地区は福井市の北部、九頭竜川の南側に位置し、田園風景の広がる自然豊かな地区です。地区内には新田塚の地名の由来にもなった新田義貞戦没伝承地の跡地に建つ新田神社があります。

明新地区社協では、人々が安心して生活できるまちづくりを目指し、様々な取組みをしています。その一つに『福祉委員と民生委員の交流会』があります。校区地図を用いて、見守りについで熱心な意見交換を行っています。

当社協では、主な事業として、自治会型デイホーム「明新げんき倶楽部」を月に5回開催しており、年間延べ約1,400名が参加しています。また、長年続けている食事サービス事業では、毎月1回、民生委員・児童委員がひとり暮らし高齢者のお宅にお弁当を届け、安否確認と声掛けを行っています。

昨年の12月には、初の試みとして、明新わかば児童クラブにおいて「こども食堂」を開催し、年の暮れも間近な折から、餅つき会を行いました。初めて体験することもちょうど多く、大人と

こども合わせて100人余りが、きな粉餅や丸餅づくりを楽しみました。

今後も地区住民の皆さんと共に助け合いながら交流を深め、安心して笑顔で暮らせる地域福祉活動を進めていきたいと思っています。

明新地区社会福祉協議会

会長 加賀 のぞみ

◀福祉委員研修会の様子



◀餅つき会の様子

